

『青少年の育成環境』—世界に通じる力を育てる—第5号

今回のテーマは、「青少年の育成環境」です。セルラスでは青少年メンバーを育てる、独自の活動に取り組んでいます。今回は特に毎年春休みに実施している中高生を対象にしたリーダーズトレーニングキャンプについてご紹介したいと思います。

それでは、—世界に通じるチカラを育てる—『多言語広場セルラスメルマガ』第5号の目次です。

【 目次 】

≪1≫青少年の育成環境～セルラスのリーダーズトレーニングキャンプ～

≪2≫～体験談～「ひとりはみんなのために みんなはひとりのために」 中西さん(中2)

≪1≫ 青少年の育成環境 ～セルラスのリーダーズトレーニングキャンプ～

☆☆セルラスの活動を始めた頃、お母さんに手を引かれてピアザに来て参加していた小さなお子さんも、少しずつその手を離し、自立の道へ進みます。

セルラスでは春休みの時期、中高大生やそこに差し掛かる子ども達(小学校高学年～)に向けて、その世代に相応しく自らを成長させるための活動をしています。

その中心となるのが、「世界に通じるチカラを育てる」ための、リーダーズトレーニングキャンプです。今年も3月29日～31日に浜名湖の近くで開催されました。そのキャンプの特徴をご紹介します☆☆

1.「失敗を恐れず挑戦する」「真剣に今に向き合う」

キャンプ冒頭に理事長から子ども達に贈られたメッセージです。失敗なくして成長なし。失敗したからこそわかる自分の可能性。

新しい自分との出会い。仲間と一緒にできる事が沢山あるということ。

そして、今を真剣に生きることの連続が未来。

今この瞬間を大切に、そして真剣に生きて欲しいという理事長の思いに子ども達は真剣に耳を傾けていました。

2.事前の“準備会”で、キャンプ参加を一層意味あるものにする

キャンプには、ただ参加するだけではありません、セルラスのキャンプは事前準備をととても大切にしています。青少年たちは関東、関西でキャンプ参加を目指すメンバーがそれぞれ集まり、4回の準備会を行いました。

準備会では「世界に通じるリーダー」についてひとりひとりが自分の考えを話し、「キャンプに参加する自分の目標」をそれぞれが見つけてキャンプに参加しました。

3.「ディスカッションが面白い！」グループタイムの魔法

ロールプレイ、プレゼンテーション、自己アピールタイム、そしてグループ対抗ゲームやキャンプファイヤーなどの楽しいプログラムもあるキャンプの中で、子どもたちが一番面白かったこととして異口同音に言っていたのが、グループタイムのディスカッションでした。

セルラスの仲間は自分の意見を聞いてくれる。だから何でも言える。

みんなが自分の意見を言い、誰も参加していない人がいない。みんなで創る場は面白いし楽しい。目を輝かせてディスカッションする青少年たちでした。

4.「プログラムではなく人」ジュニアリーダーの存在

ジュニアリーダーは特にセルラスの活動に主体的に取り組んでいる中高生の中から選ばれたリーダーです。毎週のピアザはもちろん、夏の3泊4日のサマーキャンプや冬のセルラスフェスティバルの企画運営の役割も果たしてきました。

このキャンプも、各グループを率いるのはジュニアリーダーたちです。

中高生が目標を見つけ行動するための大きな原動力になるのは、特別なリーダーシップ養成プログラムによってではなく、身近なあこがれのジュニアリーダーの存在です。

★★真のリーダーとは、今いるその場で、みんなと一緒に何ができるか、自ら考え行動できる人であるとセルラスは考えます★★

それでは次に、リーダーズトレーニングキャンプに参加したジュニアリーダー中西さん(中2)の体験談をご紹介します。

《2》 ～体験談～「ひとりはみんなのために みんなはひとりのために」

杉並区在住 中西さん(中2)

この1年、セルラスのジュニアリーダーに任命されて、自分で言うのも変ですが、私はひと皮もふた皮もむけて成長したと思っています。それはジュニアリーダーというのがセルラス全体の運営に関わる役割だからです。

1年前までは、キャンプに参加する目標も自分が「楽しむ！」でした。自分が楽しそうにしていれば周りも一緒に楽しんでくれると思っていたし実際そうだったと思います。

でもジュニアリーダーをやってきて、それすらもいかに受身だったかということがよくわかりました。そこで、今回のキャンプでは「自分が楽しむ」ということはそのまま、さらに「周りの人も楽しめる」キャンプにすることを目標にしました。

そのためには、今この人のために何ができるかなとか、みんなは今何をしてほしいんだろうというのを常に考えることが必要でした。

そうしたら、誰かがすごく笑顔になった瞬間とか何か見つけた瞬間、成長が見えた瞬間がすごくうれしかったんです。今までは自分の成長だけがうれしかったのに。これってコーディネーター目線？って思いました(笑)

あ、それから理事長目線のときもありました(笑)

前は何かやるときも、それをやる意味なんて考えずにただ動いていただけだったけれど、今回は「何のためにこのプログラムはあるんだっけ？」「こういうことがおこるのはどうして？」を考えるようになりました。本当に自分の人生が一気に深まった気がします。

でも私だけがこのような目標をもっていたわけではなく、参加した人全員が相手の気持ちを考えようという意識をもっていました！ それは、このキャンプの準備会を何度も行って、話し合うなかで、一人一人が自然に自分の目標ややる気を作っていたからだと思います。

そういう人たちが集まると、どうなると思いますか？ 自分が話しているとき、全員が自分と目を合わせてくれるんです。それって、最高に幸せな気分です。

だから、グループタイムも、プレゼンも、ロールプレイもすべてめっちゃくちゃ楽しかったです。

そして何を言っても受け入れてくれて、どんな自分もさらけ出せる、家族のような最高の仲間ができました。

そしてこういう仲間たちといっしょにいと、ロールプレイでもどんどん自分の口からことばが出てきて、何語でもあつという間にできると思いました。

本当に「ひとりみんなのために みんなはひとりのために」を心の底から体感できたキャンプでした。

セルラスはどんどん進化していて、学校のようにひとつの正解で満足するわけじゃないのがすごくいいと思います。

自分にとってのセルラスは、すごく大切な存在で、今回のキャンプの体験も、いろんなピアザで話して自分の体験の意味も新しく見つけ続けていきたいです。

このメールマガジンは、これまでセルラスが開催した『多文化教育セミナー』に参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せていただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語習得や異文化体験、楽しい交流の活動を、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加いただけるイベントやセミナーなどのお知らせを、月2回の予定でお届けします。